

【資料】

『盲導犬と視覚障害に関する社会意識調査（事業者対象）』アンケート回収集計結果

公益財団法人 日本盲導犬協会

※%は小数点第二位で四捨五入しています

Q1. あなたの性別をお答えください。

男性 79.5% 女性 20.5%

Q2. あなたの年齢をお答えください。

30代以下 9.3% 40代 20.5% 50代 33.8% 60代 36.4%

Q3. あなたのお住まいの地域をお答えください。

北海道 4.7% 青森県 0.8% 岩手県 0.7% 宮城県 1.2% 秋田県 0.5% 山形県 0.4% 福島県 1.1%
茨城県 0.9% 栃木県 1.7% 群馬県 1.5% 埼玉県 5.0% 千葉県 4.9% 東京都 16.2% 神奈川県 9.8%
新潟県 2.1% 富山県 0.9% 石川県 0.5% 福井県 0.5% 山梨県 0.4% 長野県 1.9% 岐阜県 1.1%
静岡県 2.0% 愛知県 5.7% 三重県 1.2% 滋賀県 0.4% 京都府 3.2% 大阪府 8.7% 兵庫県 4.9%
奈良県 1.4% 和歌山県 0.4% 鳥取県 0.4% 島根県 0.1% 岡山県 1.2% 広島県 2.0% 山口県 1.0%
徳島県 0.1% 香川県 1.0% 愛媛県 0.4% 高知県 0.4% 福岡県 4.4% 佐賀県 0.2% 長崎県 0.5%
熊本県 0.9% 大分県 0.6% 宮崎県 0.6% 鹿児島県 0.5% 沖縄県 1.0%

Q4. あなたのお勤め先の業種をお知らせください。

複数当てはまる場合は、もっともあなたと関わりが強いものをお知らせください。

飲食業 10.0% 宿泊業 10.0% 医療業 10.0% 小売業 10.0% 不動産賃貸業 10.0%
生活関連サービス・娯楽業（美容室/携帯ショップ/クリーニング店/映画館/カラオケなど） 10.0%
複合サービス・金融業（郵便局/銀行/信用金庫など） 10.0%
公共交通機関（バス） 10.0% 公共交通機関（タクシー） 10.0% 公共交通機関（鉄道） 10.0%

Q5. あなたの雇用形態を教えてください。

会社員（総合職） 17.3% 会社員（一般職） 42.9% 会社員（契約社員/派遣社員） 11.4%
会社役員・会社経営 5.9% 自営業 17.8% 自由業 0.9% 公務員（教職員を除く） 0.1%
公務員（教職員） 0% パート・アルバイト 3.7%

Q6. あなたのお勤め先の事業展開として近い方をお答えください。

グループ展開（チェーン店、複数店舗・営業所を持っている） 46.4% 個人店舗 53.6%

Q7. あなたのお勤め先の従業員数をお知らせください。

1～4人 22.5% 5～9人 4.5% 10～19人 4.4% 20～29人 2.7% 30～49人 6.2%
50～99人 8.5% 100～199人 7.0% 200～299人 4.7% 300人以上 39.5%

Q8. 現在の社会は、障害の有無に関わらず、誰もが平等にお店やサービスを利用できる環境が整っていると思いますか。

とてもそう思う 7.9%

飲食業 19.0% 宿泊業 7.0% 医療業 3.0% 小売業 8.0% 不動産賃貸業 9.0%
生活関連サービス・娯楽業 10.0% 複合サービス・金融業 6.0%
公共交通機関(バス)6.0% 公共交通機関(タクシー)5.0% 公共交通機関(鉄道)6.0%

ややそう思う 34.2%

飲食業 37.0% 宿泊業 28.0% 医療業 39.0% 小売業 46.0% 不動産賃貸業 25.0%
生活関連サービス・娯楽業 24.0% 複合サービス・金融業 28.0%
公共交通機関(バス) 40.0% 公共交通機関(タクシー)36.0% 公共交通機関(鉄道)39.0%

あまりそう思わない 43.5%

飲食業 38.0% 宿泊業 51.0% 医療業 36.0% 小売業 36.0% 不動産賃貸業 44.0%
生活関連サービス・娯楽業 48.0% 複合サービス・金融業 55.0%
公共交通機関(バス)39.0% 公共交通機関(タクシー)50.0% 公共交通機関(鉄道) 38.0%

全くそう思わない 14.4%

飲食業 6.0% 宿泊業 14.0% 医療業 22.0% 小売業 10.0% 不動産賃貸業 22.0%
生活関連サービス・娯楽業 18.0% 複合サービス・金融業 11.0%
公共交通機関(バス) 15.0% 公共交通機関(タクシー) 9.0% 公共交通機関(鉄道) 17.0%

Q9. 障害の有無に関わらず、全ての人が平等にお店やサービスを利用できることは、重要だと思いますか。

とてもそう思う 30.7%

飲食業 34.0% 宿泊業 31.0% 医療業 22.0% 小売業 33.0% 不動産賃貸業 35.0%
生活関連サービス・娯楽業 32.0% 複合サービス・金融業 35.0%
公共交通機関(バス) 30.0% 公共交通機関(タクシー)28.0% 公共交通機関(鉄道)27.0%

ややそう思う 47.9%

飲食業 52.0% 宿泊業 42.0% 医療業 52.0% 小売業 50.0% 不動産賃貸業 45.0%
生活関連サービス・娯楽業 44.0% 複合サービス・金融業 49.0%
公共交通機関(バス)46.0% 公共交通機関(タクシー)51.0% 公共交通機関(鉄道) 48.0%

あまりそう思わない 15.8%

飲食業 12.0% 宿泊業 23.0% 医療業 13.0% 小売業 16.0% 不動産賃貸業 11.0%
生活関連サービス・娯楽業 21.0% 複合サービス・金融業 13.0%
公共交通機関(バス) 18.0% 公共交通機関(タクシー)19.0% 公共交通機関(鉄道)12.0%

全くそう思わない 5.6%

飲食業 2.0% 宿泊業 4.0% 医療業 13.0% 小売業 1.0% 不動産賃貸業 9.0%
生活関連サービス・娯楽業 3.0% 複合サービス・金融業 3.0%
公共交通機関(バス) 6.0% 公共交通機関(タクシー)2.0% 公共交通機関(鉄道)13.0%

Q10. あなたの身の回りに、視覚障害や、その他の障害をお持ちの方はいらっしゃいますか。

あてはまるものを全てご選択ください。

視覚障害の方がいる 6.5%

飲食業 9.0% 宿泊業 10.0% 医療業 8.0% 小売業 6.0% 不動産賃貸業 6.0%
生活関連サービス・娯楽業 8.0% 複合サービス・金融業 6.0%
公共交通機関(バス) 2.0% 公共交通機関(タクシー) 3.0% 公共交通機関(鉄道) 7.0%

視覚障害以外の障害の方がいる 13.9%

飲食業 18.0% 宿泊業 18.0% 医療業 13.0% 小売業 12.0% 不動産賃貸業 9.0%
生活関連サービス・娯楽業 15.0% 複合サービス・金融業 17.0%
公共交通機関(バス) 11.0% 公共交通機関(タクシー) 17.0% 公共交通機関(鉄道) 9.0%

身の回りにはいない 81.0%

飲食業 75.0% 宿泊業 75.0% 医療業 80.0% 小売業 83.0% 不動産賃貸業 88.0%
生活関連サービス・娯楽業 81.0% 複合サービス・金融業 77.0%
公共交通機関(バス) 87.0% 公共交通機関(タクシー) 80.0% 公共交通機関(鉄道) 84.0%

Q11. 視覚障害者について、以下のことを知っていますか。

①視覚障害者の見え方が人により異なること

知っている 68.4%

飲食業 74.0% 宿泊業 72.0% 医療業 67.0% 小売業 69.0% 不動産賃貸業 60.0%
生活関連サービス・娯楽業 67.0% 複合サービス・金融業 73.0%
公共交通機関(バス) 64.0% 公共交通機関(タクシー) 65.0% 公共交通機関(鉄道) 73.0%

知らない 31.6%

飲食業 26.0% 宿泊業 28.0% 医療業 33.0% 小売業 31.0% 不動産賃貸業 40.0%
生活関連サービス・娯楽業 33.0% 複合サービス・金融業 27.0%
公共交通機関(バス) 36.0% 公共交通機関(タクシー) 35.0% 公共交通機関(鉄道) 27.0%

②視覚障害者全員が点字を読めるわけではないこと

知っている 55.9%

飲食業 63.0% 宿泊業 49.0% 医療業 58.0% 小売業 55.0% 不動産賃貸業 49.0%
生活関連サービス・娯楽業 51.0% 複合サービス・金融業 63.0%
公共交通機関(バス) 52.0% 公共交通機関(タクシー) 54.0% 公共交通機関(鉄道) 65.0%

知らない 44.1%

飲食業 37.0% 宿泊業 51.0% 医療業 42.0% 小売業 45.0% 不動産賃貸業 51.0%
生活関連サービス・娯楽業 49.0% 複合サービス・金融業 37.0%
公共交通機関(バス) 48.0% 公共交通機関(タクシー) 46.0% 公共交通機関(鉄道) 35.0%

Q12. 視覚障害者の見え方が人により異なることを「知っている」とお答えされた方に伺います。
視覚障害について、どのような見え方があることを知っていますか。ご存じのものを全てご選択ください。

全く見えない(盲) 81.1%

飲食業 82.4% 宿泊業 70.8% 医療業 85.1% 小売業 87.0% 不動産賃貸業 90.0%
生活関連サービス・娯楽業 88.1% 複合サービス・金融業 71.2%
公共交通機関(バス)71.9% 公共交通機関(タクシー)78.5% 公共交通機関(鉄道)87.7%

ぼやけて見える(視力低下) 73.2%

飲食業 75.7% 宿泊業 68.1% 医療業 73.1% 小売業 78.3% 不動産賃貸業 81.7%
生活関連サービス・娯楽業 77.6% 複合サービス・金融業 57.5%
公共交通機関(バス)60.9% 公共交通機関(タクシー)75.4% 公共交通機関(鉄道)84.9%

見える範囲が狭い(視野狭窄など) 71.5%

飲食業 70.3% 宿泊業 63.9% 医療業 80.6% 小売業 78.3% 不動産賃貸業 80.0%
生活関連サービス・娯楽業 82.1% 複合サービス・金融業 61.6%
公共交通機関(バス)53.1% 公共交通機関(タクシー)72.3% 公共交通機関(鉄道)74.0%

まぶしさを強く感じて目が痛い(白濁、羞明など) 50.9%

飲食業 52.7% 宿泊業 55.6% 医療業 56.7% 小売業 46.4% 不動産賃貸業 55.0%
生活関連サービス・娯楽業 52.2% 複合サービス・金融業 42.5%
公共交通機関(バス)40.6% 公共交通機関(タクシー)52.3.0% 公共交通機関(鉄道)54.8%

暗い場所では見えにくい(夜盲) 56.4%

飲食業 56.8% 宿泊業 52.8% 医療業 64.2% 小売業 58.0% 不動産賃貸業 58.3%
生活関連サービス・娯楽業 58.2% 複合サービス・金融業 49.3%
公共交通機関(バス) 46.9.% 公共交通機関(タクシー)61.5% 公共交通機関(鉄道)58.9%

歪んで見える(歪視) 40.6%

飲食業 44.6% 宿泊業 41.7% 医療業 50.7% 小売業 42.0% 不動産賃貸業 45.0%
生活関連サービス・娯楽業 41.8% 複合サービス・金融業 26.0%
公共交通機関(バス)43.8% 公共交通機関(タクシー)36.9% 公共交通機関(鉄道)35.6%

どれも知らない 8.2%

飲食業 6.8% 宿泊業 8.3% 医療業 9.0% 小売業 7.2% 不動産賃貸業 6.7%
生活関連サービス・娯楽業 3.0% 複合サービス・金融業 16.4%
公共交通機関(バス)17.2% 公共交通機関(タクシー)4.6% 公共交通機関(鉄道)2.7%

その他 2.2%

飲食業 1.4% 宿泊業 1.4% 医療業 0.0% 小売業 1.4% 不動産賃貸業 3.3%
生活関連サービス・娯楽業 3.0% 複合サービス・金融業 0.0%
公共交通機関(バス) 3.1% 公共交通機関(タクシー) 7.7% 公共交通機関(鉄道)1.4%

Q13. 盲導犬や盲導犬ユーザーをについて、以下のことをご存知ですか。

①盲導犬ユーザー以外が、盲導犬に対して声をかけたり、触ったり、食べ物や飲み物を与えてはいけないこと

知っている 59.8%

飲食業 68.0% 宿泊業 61.0% 医療業 55.0% 小売業 66.0% 不動産賃貸業 54.0%
生活関連サービス・娯楽業 56.0% 複合サービス・金融業 57.0%
公共交通機関(バス)59.0% 公共交通機関(タクシー)58.0% 公共交通機関(鉄道)64.0%

知らない 40.2%

飲食業 32.0% 宿泊業 39.0% 医療業 45.0% 小売業 34.0% 不動産賃貸業 46.0%
生活関連サービス・娯楽業 44.0% 複合サービス・金融業 43.0%
公共交通機関(バス) 41.0% 公共交通機関(タクシー)42.0% 公共交通機関(鉄道)36.0%

②盲導犬が盲導犬ユーザーを目的地まで連れて行くわけではない
(実際は盲導犬ユーザーが、道順を覚えて盲導犬に指示を出す)こと

知っている 40.8%

飲食業 43.0% 宿泊業 41.0% 医療業 47.0% 小売業 44.0% 不動産賃貸業 35.0%
生活関連サービス・娯楽業 37.0% 複合サービス・金融業 33.0%
公共交通機関(バス)40.0% 公共交通機関(タクシー)40.0% 公共交通機関(鉄道)48.0%

知らない 59.2%

飲食業 57.0% 宿泊業 59.0% 医療業 53.0% 小売業 56.0% 不動産賃貸業 65.0%
生活関連サービス・娯楽業 63.0% 複合サービス・金融業 67.0%
公共交通機関(バス)60.0% 公共交通機関(タクシー)60.0% 公共交通機関(鉄道)52.0%

③盲導犬ユーザーが訓練によって犬の管理や世話に関する知識や技術を習得していること

知っている 53.6%

飲食業 55.0% 宿泊業 56.0% 医療業 54.0% 小売業 55.0% 不動産賃貸業 53.0%
生活関連サービス・娯楽業 50.0% 複合サービス・金融業 57.0%
公共交通機関(バス)49.0% 公共交通機関(タクシー)51.0% 公共交通機関(鉄道)56.0%

知らない 46.4%

飲食業 45.0% 宿泊業 44.0% 医療業 46.0% 小売業 45.0% 不動産賃貸業 47.0%
生活関連サービス・娯楽業 50.0% 複合サービス・金融業 43.0%
公共交通機関(バス)51.0% 公共交通機関(タクシー)49.0% 公共交通機関(鉄道)44.0%

④盲導犬ユーザーは、盲導犬に(排泄を我慢させることなく)定期的に排泄をさせ、
排泄物で施設等を汚すことがないこと

知っている 39.4%

飲食業 41.0% 宿泊業 44.0% 医療業 43.0% 小売業 34.0% 不動産賃貸業 36.0%
生活関連サービス・娯楽業 35.0% 複合サービス・金融業 41.0%
公共交通機関(バス) 40.0% 公共交通機関(タクシー)35.0% 公共交通機関(鉄道)45.0%

知らない 60.6%

飲食業 59.0% 宿泊業 56.0% 医療業 57.0% 小売業 66.0% 不動産賃貸業 64.0%
生活関連サービス・娯楽業 65.0% 複合サービス・金融業 59.0%
公共交通機関(バス)60.0% 公共交通機関(タクシー)65.0% 公共交通機関(鉄道)55.0%

Q14. 盲導犬が身につけているハーネスには「盲導犬」と表示されていることを知っていますか。

知っている 39.6%

飲食業 44.0% 宿泊業 42.0% 医療業 32.0% 小売業 44.0% 不動産賃貸業 36.0%
生活関連サービス・娯楽業 34.0% 複合サービス・金融業 27.0%
公共交通機関(バス)43.0% 公共交通機関(タクシー)37.0% 公共交通機関(鉄道)57.0%

知らない 60.4%

飲食業 56.0% 宿泊業 58.0% 医療業 68.0% 小売業 56.0% 不動産賃貸業 64.0%
生活関連サービス・娯楽業 66.0% 複合サービス・金融業 73.0%
公共交通機関(バス)57.0% 公共交通機関(タクシー)63.0% 公共交通機関(鉄道)43.0%

**Q15. あなたがよく利用する店舗・施設・交通機関などで盲導犬が隣にいた場合、
気になること・懸念に思うことはありますか。あてはまるものを全てご選択ください。**

毛やフケなどで服が汚れるのではないかと 7.9%

飲食業 12.0% 宿泊業 10.0% 医療業 9.0% 小売業 6.0% 不動産賃貸業 9.0%
生活関連サービス・娯楽業 4.0% 複合サービス・金融業 6.0%
公共交通機関(バス)5.0% 公共交通機関(タクシー)12.0% 公共交通機関(鉄道)6.0%

においが気になる 9.1%

飲食業 6.0% 宿泊業 8.0% 医療業 10.0% 小売業 9.0% 不動産賃貸業 7.0%
生活関連サービス・娯楽業 13.0% 複合サービス・金融業 12.0%
公共交通機関(バス)10.0% 公共交通機関(タクシー)11.0% 公共交通機関(鉄道)5.0%

排泄などで周囲が汚れるのではないかと 6.1%

飲食業 8.0% 宿泊業 8.0% 医療業 5.0% 小売業 6.0% 不動産賃貸業 6.0%
生活関連サービス・娯楽業 7.0% 複合サービス・金融業 4.0%
公共交通機関(バス)3.0% 公共交通機関(タクシー)11.0% 公共交通機関(鉄道)3.0%

感染症などの衛生面が気になる 7.3%

飲食業 11.0% 宿泊業 5.0% 医療業 10.0% 小売業 8.0% 不動産賃貸業 13.0%
生活関連サービス・娯楽業 11.0% 複合サービス・金融業 6.0%
公共交通機関(バス)2.0% 公共交通機関(タクシー)3.0% 公共交通機関(鉄道)4.0%

犬の体が大きく、通路や足元が狭くなるのではないかと 7.9%

飲食業 14.0% 宿泊業 5.0% 医療業 8.0% 小売業 9.0% 不動産賃貸業 8.0%
生活関連サービス・娯楽業 9.0% 複合サービス・金融業 9.0%
公共交通機関(バス)6.0% 公共交通機関(タクシー)5.0% 公共交通機関(鉄道)6.0%

吠える・動き回るなど落ち着かないのではないかと 6.7%

飲食業 9.0% 宿泊業 6.0% 医療業 8.0% 小売業 4.0% 不動産賃貸業 6.0%
生活関連サービス・娯楽業 9.0% 複合サービス・金融業 6.0%
公共交通機関(バス)5.0% 公共交通機関(タクシー)7.0% 公共交通機関(鉄道)7.0%

店内や施設の備品・商品を傷つけたり壊したりしないかと 4.3%

飲食業 6.0% 宿泊業 7.0% 医療業 3.0% 小売業 7.0% 不動産賃貸業 5.0%
生活関連サービス・娯楽業 4.0% 複合サービス・金融業 0.0%
公共交通機関(バス)1.0% 公共交通機関(タクシー)5.0% 公共交通機関(鉄道)5.0%

他の利用者（特に犬が苦手な人やアレルギーがある人）が驚かないかと 13.8%

飲食業 17.0% 宿泊業 24.0% 医療業 12.0% 小売業 8.0% 不動産賃貸業 15.0%
生活関連サービス・娯楽業 15.0% 複合サービス・金融業 15.0%
公共交通機関(バス)10.0% 公共交通機関(タクシー)16.0% 公共交通機関(鉄道)6.0%

盲導犬と一般のペットの違い（訓練や衛生管理）がよくわからない 7.6%
飲食業 10.0% 宿泊業 8.0% 医療業 8.0% 小売業 7.0% 不動産賃貸業 12.0%
生活関連サービス・娯楽業 6.0% 複合サービス・金融業 8.0%
公共交通機関(バス) 5.0% 公共交通機関(タクシー) 5.0% 公共交通機関(鉄道) 7.0%

特に気になることはない 65.9%
飲食業 61.0% 宿泊業 58.0% 医療業 65.0% 小売業 79.0% 不動産賃貸業 65.0%
生活関連サービス・娯楽業 67.0% 複合サービス・金融業 58.0%
公共交通機関(バス) 67.0% 公共交通機関(タクシー) 64.0% 公共交通機関(鉄道) 75.0%

その他 0.3%（その他の内容：犬を驚かせないか心配、など）
飲食業 0.0% 宿泊業 1.0% 医療業 0.0% 小売業 2.0% 不動産賃貸業 0.0%
生活関連サービス・娯楽業 0.0% 複合サービス・金融業 0.0%
公共交通機関(バス) 0.0% 公共交通機関(タクシー) 0.0% 公共交通機関(鉄道) 0.0%

Q16. あなたのお勤め先をこれまで盲導犬ユーザーが利用したことはありますか。

利用したことがある 14.2%
飲食業 15.0% 宿泊業 14.0% 医療業 8.0% 小売業 14.0% 不動産賃貸業 3.0%
生活関連サービス・娯楽業 6.0% 複合サービス・金融業 3.0%
公共交通機関(バス) 27.0% 公共交通機関(タクシー) 16.0% 公共交通機関(鉄道) 36.0%

利用したことはない 52.3%
飲食業 64.0% 宿泊業 59.0% 医療業 52.0% 小売業 58.0% 不動産賃貸業 72.0%
生活関連サービス・娯楽業 62.0% 複合サービス・金融業 58.0%
公共交通機関(バス) 39.0% 公共交通機関(タクシー) 36.0% 公共交通機関(鉄道) 23.0%

利用しようとしたが断ったことがある 1.7%
飲食業 6.0% 宿泊業 2.0% 医療業 0.0% 小売業 1.0% 不動産賃貸業 1.0%
生活関連サービス・娯楽業 3.0% 複合サービス・金融業 1.0%
公共交通機関(バス) 0.0% 公共交通機関(タクシー) 1.0% 公共交通機関(鉄道) 2.0%

わからない/把握していない 31.8%
飲食業 15.0% 宿泊業 25.0% 医療業 40.0% 小売業 27.0% 不動産賃貸業 24.0%
生活関連サービス・娯楽業 29.0% 複合サービス・金融業 38.0%
公共交通機関(バス) 34.0% 公共交通機関(タクシー) 47.0% 公共交通機関(鉄道) 39.0%

Q17. 「盲導犬ユーザーが利用したことがある」とお答えされた方に伺います。

あなたは従業員として盲導犬ユーザーの接客をしたことがありますか。
ある 71.8%
飲食業 86.7% 宿泊業 42.9% 医療業 100.0% 小売業 57.1% 不動産賃貸業 100.0%
生活関連サービス・娯楽業 100.0% 複合サービス・金融業 33.3%
公共交通機関(バス) 77.8% 公共交通機関(タクシー) 93.8% 公共交通機関(鉄道) 58.3%

ない 28.2%
飲食業 13.3% 宿泊業 57.1% 医療業 0.0% 小売業 42.9% 不動産賃貸業 0.0%
生活関連サービス・娯楽業 0.0% 複合サービス・金融業 66.7%
公共交通機関(バス) 22.2% 公共交通機関(タクシー) 6.3% 公共交通機関(鉄道) 41.7%

Q18. あなたのお勤め先に盲導犬が入ることへのイメージとして、あてはまるものをご選択ください。

①盲導犬が入ることは不衛生だ

とてもそう思う 1.1%

飲食業 2.0% 宿泊業 3.0% 医療業 2.0% 小売業 1.0% 不動産賃貸業 0.0%
生活関連サービス・娯楽業 1.0% 複合サービス・金融業 1.0%
公共交通機関(バス) 1.0% 公共交通機関(タクシー) 0.0% 公共交通機関(鉄道) 0.0%

ややそう思う 11.6%

飲食業 14.0% 宿泊業 14.0% 医療業 13.0% 小売業 6.0% 不動産賃貸業 13.0%
生活関連サービス・娯楽業 14.0% 複合サービス・金融業 12.0%
公共交通機関(バス) 5.0% 公共交通機関(タクシー) 16.0% 公共交通機関(鉄道) 9.0%

あまりそう思わない 37.4%

飲食業 44.0% 宿泊業 38.0% 医療業 44.0% 小売業 30.0% 不動産賃貸業 37.0%
生活関連サービス・娯楽業 40.0% 複合サービス・金融業 46.0%
公共交通機関(バス) 33.0% 公共交通機関(タクシー) 33.0% 公共交通機関(鉄道) 29.0%

全くそう思わない 49.9%

飲食業 40.0% 宿泊業 45.0% 医療業 41.0% 小売業 63.0% 不動産賃貸業 50.0%
生活関連サービス・娯楽業 45.0% 複合サービス・金融業 41.0%
公共交通機関(バス) 61.0% 公共交通機関(タクシー) 51.0% 公共交通機関(鉄道) 62.0%

②盲導犬が入ると邪魔だ

とてもそう思う 1.7%

飲食業 5.0% 宿泊業 1.0% 医療業 3.0% 小売業 1.0% 不動産賃貸業 0.0%
生活関連サービス・娯楽業 3.0% 複合サービス・金融業 1.0%
公共交通機関(バス) 1.0% 公共交通機関(タクシー) 2.0% 公共交通機関(鉄道) 0.0%

ややそう思う 8.0%

飲食業 14.0% 宿泊業 6.0% 医療業 7.0% 小売業 5.0% 不動産賃貸業 8.0%
生活関連サービス・娯楽業 11.0% 複合サービス・金融業 8.0%
公共交通機関(バス) 5.0% 公共交通機関(タクシー) 9.0% 公共交通機関(鉄道) 7.0%

あまりそう思わない 35.4%

飲食業 35.0% 宿泊業 38.0% 医療業 43.0% 小売業 26.0% 不動産賃貸業 37.0%
生活関連サービス・娯楽業 38.0% 複合サービス・金融業 42.0%
公共交通機関(バス) 28.0% 公共交通機関(タクシー) 37.0% 公共交通機関(鉄道) 30.0%

全くそう思わない 54.9%

飲食業 46.0% 宿泊業 55.0% 医療業 47.0% 小売業 68.0% 不動産賃貸業 55.0%
生活関連サービス・娯楽業 48.0% 複合サービス・金融業 49.0%
公共交通機関(バス) 66.0% 公共交通機関(タクシー) 52.0% 公共交通機関(鉄道) 63.0%

③盲導犬が入ると他のお客様に迷惑だ

とてもそう思う 1.6%

飲食業 3.0% 宿泊業 1.0% 医療業 3.0% 小売業 1.0% 不動産賃貸業 0.0%
生活関連サービス・娯楽業 4.0% 複合サービス・金融業 0.0%
公共交通機関(バス) 1.0% 公共交通機関(タクシー) 3.0% 公共交通機関(鉄道) 0.0%

ややそう思う 10.5%

飲食業 15.0% 宿泊業 18.0% 医療業 6.0% 小売業 7.0% 不動産賃貸業 13.0%
生活関連サービス・娯楽業 13.0% 複合サービス・金融業 6.0%
公共交通機関(バス) 9.0% 公共交通機関(タクシー) 12.0% 公共交通機関(鉄道) 6.0%

あまりそう思わない 38.6%

飲食業 42.0% 宿泊業 33.0% 医療業 46.0% 小売業 28.0% 不動産賃貸業 40.0%
生活関連サービス・娯楽業 40.0% 複合サービス・金融業 49.0%
公共交通機関(バス) 29.0% 公共交通機関(タクシー) 44.0% 公共交通機関(鉄道) 35.0%

全くそう思わない 49.3%

飲食業 40.0% 宿泊業 48.0% 医療業 45.0% 小売業 64.0% 不動産賃貸業 47.0%
生活関連サービス・娯楽業 43.0% 複合サービス・金融業 45.0%
公共交通機関(バス) 61.0% 公共交通機関(タクシー) 41.0% 公共交通機関(鉄道) 59.0%

④盲導犬が畳や床を傷つける

とてもそう思う 2.0%

飲食業 3.0% 宿泊業 2.0% 医療業 4.0% 小売業 1.0% 不動産賃貸業 2.0%
生活関連サービス・娯楽業 2.0% 複合サービス・金融業 3.0%
公共交通機関(バス)1.0% 公共交通機関(タクシー) 2.0% 公共交通機関(鉄道) 0.0%

ややそう思う 10.4%

飲食業 12.0% 宿泊業 12.0% 医療業 10.0% 小売業 5.0% 不動産賃貸業 13.0%
生活関連サービス・娯楽業 15.0% 複合サービス・金融業 10.0%
公共交通機関(バス) 6.0% 公共交通機関(タクシー) 10.0% 公共交通機関(鉄道) 11.0%

あまりそう思わない 35.5%

飲食業 37.0% 宿泊業 37.0% 医療業 46.0% 小売業 28.0% 不動産賃貸業 38.0%
生活関連サービス・娯楽業 37.0% 複合サービス・金融業 38.0%
公共交通機関(バス) 30.0% 公共交通機関(タクシー) 38.0% 公共交通機関(鉄道) 26.0%

全くそう思わない 52.1%

飲食業 48.0% 宿泊業 49.0% 医療業 40.0% 小売業 66.0% 不動産賃貸業 47.0%
生活関連サービス・娯楽業 46.0% 複合サービス・金融業 49.0%
公共交通機関(バス) 63.0% 公共交通機関(タクシー) 50.0% 公共交通機関(鉄道) 63.0%

⑤盲導犬が座っていたり待機したりしていた場所が汚れる

とてもそう思う 2.0%

飲食業 5.0% 宿泊業 2.0% 医療業 2.0% 小売業 1.0% 不動産賃貸業 0.0%
生活関連サービス・娯楽業 3.0% 複合サービス・金融業 2.0%
公共交通機関(バス) 1.0% 公共交通機関(タクシー) 3.0% 公共交通機関(鉄道) 1.0%

ややそう思う 11.5%

飲食業 10.0% 宿泊業 13.0% 医療業 17.0% 小売業 5.0% 不動産賃貸業 16.0%
生活関連サービス・娯楽業 13.0% 複合サービス・金融業 9.0%
公共交通機関(バス) 9.0% 公共交通機関(タクシー) 14.0% 公共交通機関(鉄道) 9.0%

あまりそう思わない 37.2%

飲食業 41.0% 宿泊業 43.0% 医療業 38.0% 小売業 30.0% 不動産賃貸業 37.0%
生活関連サービス・娯楽業 38.0% 複合サービス・金融業 47.0%
公共交通機関(バス)36.0% 公共交通機関(タクシー) 35.0% 公共交通機関(鉄道) 27.0%

全くそう思わない 49.3%

飲食業 44.0% 宿泊業 42.0% 医療業 43.0% 小売業 64.0% 不動産賃貸業 47.0%
生活関連サービス・娯楽業 46.0% 複合サービス・金融業 42.0%
公共交通機関(バス) 54.0% 公共交通機関(タクシー) 48.0% 公共交通機関(鉄道) 63.0%

⑥盲導犬が勤め先に入ることが考えられない

とてもそう思う 4.0%

飲食業 10.0% 宿泊業 5.0% 医療業 4.0% 小売業 3.0% 不動産賃貸業 3.0%
生活関連サービス・娯楽業 4.0% 複合サービス・金融業 4.0%
公共交通機関(バス) 3.0% 公共交通機関(タクシー) 4.0% 公共交通機関(鉄道) 0.0%

ややそう思う 13.1%

飲食業 17.0% 宿泊業 20.0% 医療業 13.0% 小売業 11.0% 不動産賃貸業 13.0%
生活関連サービス・娯楽業 19.0% 複合サービス・金融業 11.0%
公共交通機関(バス) 11.0% 公共交通機関(タクシー) 9.0% 公共交通機関(鉄道) 7.0%

あまりそう思わない 34.1%

飲食業 29.0% 宿泊業 29.0% 医療業 43.0% 小売業 26.0% 不動産賃貸業 34.0%
生活関連サービス・娯楽業 33.0% 複合サービス・金融業 47.0%
公共交通機関(バス) 28.0% 公共交通機関(タクシー) 40.0% 公共交通機関(鉄道) 32.0%

全くそう思わない 48.8%

飲食業 44.0% 宿泊業 46.0% 医療業 40.0% 小売業 60.0% 不動産賃貸業 50.0%
生活関連サービス・娯楽業 44.0% 複合サービス・金融業 38.0%
公共交通機関(バス) 58.0% 公共交通機関(タクシー) 47.0% 公共交通機関(鉄道) 61.0%

Q19. 「不衛生」とお答えされた方に伺います。

具体的にどのような衛生面の懸念を感じていますか。あてはまるものを全てご選択ください。

抜け毛・フケ等の付着が心配 47.2%

飲食業 56.3% 宿泊業 23.5% 医療業 66.7% 小売業 57.1% 不動産賃貸業 53.8%
生活関連サービス・娯楽業 33.3% 複合サービス・金融業 23.1%
公共交通機関(バス)83.3% 公共交通機関(タクシー) 68.8% 公共交通機関(鉄道)22.2%

体臭・においが心配 48.0%

飲食業 37.5% 宿泊業 29.4% 医療業 66.7% 小売業 42.9% 不動産賃貸業 53.8%
生活関連サービス・娯楽業 60.0% 複合サービス・金融業 38.5%
公共交通機関(バス) 50.0% 公共交通機関(タクシー) 62.5% 公共交通機関(鉄道)33.3%

糞尿のリスクが心配(屋内での排泄等) 30.7%

飲食業 25.0% 宿泊業 5.9% 医療業 53.3% 小売業 42.9% 不動産賃貸業 23.1%
生活関連サービス・娯楽業 26.7% 複合サービス・金融業 38.5%
公共交通機関(バス) 33.3% 公共交通機関(タクシー) 50.0% 公共交通機関(鉄道)11.1%

ノミ・ダニ・感染症等の衛生リスクが心配 46.5%

飲食業 50.0% 宿泊業 17.6% 医療業 53.3% 小売業 57.1% 不動産賃貸業 53.8%
生活関連サービス・娯楽業 46.7% 複合サービス・金融業 61.5%
公共交通機関(バス) 50.0% 公共交通機関(タクシー) 62.5% 公共交通機関(鉄道)11.1%

飲食提供エリアでの衛生基準との関係が不明 29.9%

飲食業 50.0% 宿泊業 35.3% 医療業 20.0% 小売業 57.1% 不動産賃貸業 30.8%
生活関連サービス・娯楽業 46.7% 複合サービス・金融業 15.4%
公共交通機関(バス) 16.7% 公共交通機関(タクシー) 18.8% 公共交通機関(鉄道)0.0%

待機場所のマット・敷物の汚れが心配 32.3%

飲食業 37.5% 宿泊業 11.8% 医療業 46.7% 小売業 28.6% 不動産賃貸業 7.7%
生活関連サービス・娯楽業 40.0% 複合サービス・金融業 38.5%
公共交通機関(バス) 33.3% 公共交通機関(タクシー) 56.3% 公共交通機関(鉄道)11.1%

布製什器(椅子・ソファ等)の汚れが心配 22.0%

飲食業 18.8% 宿泊業 11.8% 医療業 20.0% 小売業 28.6% 不動産賃貸業 15.4%
生活関連サービス・娯楽業 26.7% 複合サービス・金融業 15.4%
公共交通機関(バス) 16.7% 公共交通機関(タクシー) 50.0% 公共交通機関(鉄道)11.1%

濡れた体(雨天等)での床の滑り・汚れが心配 27.6%

飲食業 43.8% 宿泊業 11.8% 医療業 40.0% 小売業 28.6% 不動産賃貸業 15.4%
生活関連サービス・娯楽業 46.7% 複合サービス・金融業 23.1%
公共交通機関(バス) 33.3% 公共交通機関(タクシー) 18.8% 公共交通機関(鉄道)11.1%

清掃負担が増える/体制が整っていない 23.6%

飲食業 37.5% 宿泊業 17.6% 医療業 26.7% 小売業 28.6% 不動産賃貸業 38.5%
生活関連サービス・娯楽業 20.0% 複合サービス・金融業 15.4%
公共交通機関(バス) 33.3% 公共交通機関(タクシー) 12.5% 公共交通機関(鉄道)11.1%

他の来訪者のアレルギー対応が心配 41.7%

飲食業 68.8% 宿泊業 29.4% 医療業 60.0% 小売業 57.1% 不動産賃貸業 30.8%
生活関連サービス・娯楽業 46.7% 複合サービス・金融業 46.2%
公共交通機関(バス) 16.7% 公共交通機関(タクシー) 18.8% 公共交通機関(鉄道) 33.3%

その他 0.8%

飲食業 0.0% 宿泊業 0.0% 医療業 0.0% 小売業 14.3% 不動産賃貸業 0.0%
生活関連サービス・娯楽業 0.0% 複合サービス・金融業 0.0%
公共交通機関(バス) 0.0% 公共交通機関(タクシー) 0.0% 公共交通機関(鉄道) 0.0%

Q20. 盲導犬がお勤め先に入ることに、懸念に感じる事があれば具体的にお答えください。

回答 1000 名。内容を一部抜粋

- ・他のお客様が盲導犬を見て、驚いたり、嫌がる態度をすること
- ・盲導犬に勝手に触る人がいたらどうすればよいか分からない
- ・他のお客様からクレームがないか心配
- ・盲導犬に対して、従業員がどこまで世話をしているのか
- ・普段、接する機会が無いので、どのように対応しているか分からない
- ・土足ではないので、足を拭いて入ってもらいたい
- ・盲導犬が長時間じっとしてられるかどうか気になる
- ・設備が整っていないから受け入れられるか心配
- ・店舗が狭いので、お客様の移動（例えばトイレへ移動する時）が困難かもしれない
- ・盲導犬が入れるスペースが確保できるか分からない
- ・盲導犬が入った後の部屋の清掃方法が、確立されていない
- ・衛生的に他の動物が入ることは禁止しているのに、盲導犬だけ入っていいものか心配

Q21. あなたは従業員として盲導犬ユーザーの接客に抵抗・不安がありますか。あなたの盲導犬ユーザーや視覚障害者への接客に対するイメージとして、あてはまるものをご選択ください。

誘導(席や目的地などへ)に抵抗・不安がある 9.7%

飲食業 17.0% 宿泊業 8.0% 医療業 12.0% 小売業 8.0% 不動産賃貸業 13.0%
生活関連サービス・娯楽業 8.0% 複合サービス・金融業 12.0%
公共交通機関(バス)5.0% 公共交通機関(タクシー) 9.0% 公共交通機関(鉄道)5.0%

情報提供(商品・サービスの説明等)に抵抗・不安がある 6.7%

飲食業 10.0% 宿泊業 5.0% 医療業 7.0% 小売業 7.0% 不動産賃貸業 10.0%
生活関連サービス・娯楽業 12.0% 複合サービス・金融業 6.0%
公共交通機関(バス) 2.0% 公共交通機関(タクシー) 4.0% 公共交通機関(鉄道) 4.0%

コミュニケーションに抵抗・不安がある 11.4%

飲食業 12.0% 宿泊業 19.0% 医療業 11.0% 小売業 6.0% 不動産賃貸業 12.0%
生活関連サービス・娯楽業 15.0% 複合サービス・金融業 13.0%
公共交通機関(バス) 10.0% 公共交通機関(タクシー) 9.0% 公共交通機関(鉄道) 7.0%

盲導犬への接し方(触れてよいか・距離の取り方など)がわからず抵抗・不安がある 17.3%

飲食業 22.0% 宿泊業 19.0% 医療業 17.0% 小売業 11.0% 不動産賃貸業 23.0%
生活関連サービス・娯楽業 23.0% 複合サービス・金融業 20.0%
公共交通機関(バス) 13.0% 公共交通機関(タクシー) 19.0% 公共交通機関(鉄道) 6.0%

他の利用者がどう思うか心配 15.4%

飲食業 29.0% 宿泊業 23.0% 医療業 11.0% 小売業 8.0% 不動産賃貸業 12.0%
生活関連サービス・娯楽業 20.0% 複合サービス・金融業 11.0%
公共交通機関(バス) 15.0% 公共交通機関(タクシー) 16.0% 公共交通機関(鉄道) 9.0%

特に抵抗や不安はない 62.5%

飲食業 50.0% 宿泊業 50.0% 医療業 61.0% 小売業 74.0% 不動産賃貸業 60.0%
生活関連サービス・娯楽業 60.0% 複合サービス・金融業 64.0%
公共交通機関(バス) 69.0% 公共交通機関(タクシー) 64.0% 公共交通機関(鉄道) 73.0%

Q22. あなたは身体障害者補助犬法を知っていますか。

法律の存在を知っており、内容をほぼ理解している 8.7%

飲食業 18.0% 宿泊業 12.0% 医療業 6.0% 小売業 6.0% 不動産賃貸業 5.0%
生活関連サービス・娯楽業 6.0% 複合サービス・金融業 6.0%
公共交通機関(バス) 7.0% 公共交通機関(タクシー) 4.0% 公共交通機関(鉄道) 17.0%

法律の存在は知っているが中身は知らない 25.3%

飲食業 25.0% 宿泊業 24.0% 医療業 28.0% 小売業 20.0% 不動産賃貸業 26.0%
生活関連サービス・娯楽業 27.0% 複合サービス・金融業 24.0%
公共交通機関(バス) 22.0% 公共交通機関(タクシー) 28.0% 公共交通機関(鉄道) 29.0%

法律の存在を知らない 66.0%

飲食業 57.0% 宿泊業 64.0% 医療業 66.0% 小売業 74.0% 不動産賃貸業 69.0%
生活関連サービス・娯楽業 67.0% 複合サービス・金融業 70.0%
公共交通機関(バス) 71.0% 公共交通機関(タクシー) 68.0% 公共交通機関(鉄道) 54.0%

Q23. 「知っている」とお答えたされた方に伺います。この法律をどのような場面で知りましたか。

私的な場面（プライベート）で知った 69.4%

飲食業 83.7% 宿泊業 77.8% 医療業 70.6% 小売業 80.8% 不動産賃貸業 80.6%
生活関連サービス・娯楽業 66.7% 複合サービス・金融業 70.0%
公共交通機関(バス) 55.2% 公共交通機関(タクシー) 65.6% 公共交通機関(鉄道) 47.8%

就業中に知った 30.6%

飲食業 16.3% 宿泊業 22.2% 医療業 29.4% 小売業 19.2% 不動産賃貸業 19.4%
生活関連サービス・娯楽業 33.3% 複合サービス・金融業 30.0%
公共交通機関(バス) 44.8% 公共交通機関(タクシー) 34.4% 公共交通機関(鉄道) 52.2%

Q24. 「知っている」とお答えされた方に伺います。この法律をどのような方法（媒体）で知りましたか。

あてはまるものを全てご選択ください。

テレビ・ニュース 54.4%

飲食業 53.5% 宿泊業 58.3% 医療業 55.9% 小売業 65.4% 不動産賃貸業 64.5%
生活関連サービス・娯楽業 60.6% 複合サービス・金融業 50.0%
公共交通機関(バス) 65.5% 公共交通機関(タクシー) 59.4% 公共交通機関(鉄道) 26.1%

ラジオ 7.1%

飲食業 7.0% 宿泊業 8.3% 医療業 2.9% 小売業 7.7% 不動産賃貸業 3.2%
生活関連サービス・娯楽業 6.1% 複合サービス・金融業 6.7%
公共交通機関(バス) 3.4% 公共交通機関(タクシー) 15.6% 公共交通機関(鉄道) 8.7%

新聞 16.2%

飲食業 18.6% 宿泊業 11.1% 医療業 17.6% 小売業 23.1% 不動産賃貸業 19.4%
生活関連サービス・娯楽業 12.1% 複合サービス・金融業 20.0%
公共交通機関(バス) 13.8% 公共交通機関(タクシー) 12.5% 公共交通機関(鉄道) 15.2%

WEB 記事 18.2%

飲食業 14.0% 宿泊業 27.8% 医療業 5.9% 小売業 15.4% 不動産賃貸業 22.6%
生活関連サービス・娯楽業 18.2% 複合サービス・金融業 6.7%
公共交通機関(バス) 20.7% 公共交通機関(タクシー) 28.1% 公共交通機関(鉄道) 21.7%

SNS (X・Instagram・Facebook など) 11.5%

飲食業 27.9% 宿泊業 13.9% 医療業 5.9% 小売業 7.7% 不動産賃貸業 9.7%
生活関連サービス・娯楽業 12.1% 複合サービス・金融業 6.7%
公共交通機関(バス) 6.9% 公共交通機関(タクシー) 6.3% 公共交通機関(鉄道) 10.9%

インターネット 24.4%

飲食業 27.9% 宿泊業 33.3% 医療業 8.8% 小売業 26.9% 不動産賃貸業 29.0%
生活関連サービス・娯楽業 27.3% 複合サービス・金融業 20.0%
公共交通機関(バス) 20.7% 公共交通機関(タクシー) 37.5% 公共交通機関(鉄道) 15.2%

職場での研修 16.5%

飲食業 4.7% 宿泊業 16.7% 医療業 17.6% 小売業 11.5% 不動産賃貸業 12.9%
生活関連サービス・娯楽業 12.1% 複合サービス・金融業 6.7%
公共交通機関(バス) 20.7% 公共交通機関(タクシー) 3.1% 公共交通機関(鉄道) 47.8%

資格取得試験 5.6%

飲食業 4.7% 宿泊業 2.8% 医療業 2.9% 小売業 7.7% 不動産賃貸業 3.2%
生活関連サービス・娯楽業 6.1% 複合サービス・金融業 0.0%
公共交通機関(バス) 6.9% 公共交通機関(タクシー) 6.3% 公共交通機関(鉄道) 13.0%

盲導犬訓練施設職員の説明 5.9%

飲食業 9.3% 宿泊業 2.8% 医療業 8.8% 小売業 15.4% 不動産賃貸業 3.2%
生活関連サービス・娯楽業 9.1% 複合サービス・金融業 3.3%
公共交通機関(バス) 3.4% 公共交通機関(タクシー) 0.0% 公共交通機関(鉄道) 4.3%

盲導犬ユーザー（その家族）など当事者の話 7.4%

飲食業 7.0% 宿泊業 2.8% 医療業 8.8% 小売業 15.4% 不動産賃貸業 9.7%
生活関連サービス・娯楽業 3.0% 複合サービス・金融業 6.7%
公共交通機関(バス) 6.9% 公共交通機関(タクシー) 15.6% 公共交通機関(鉄道) 2.2%

その他 3.2%（その他の内容：マンガ、職場の人から聞いた、など）

飲食業 0.0% 宿泊業 11.1% 医療業 0.0% 小売業 11.5% 不動産賃貸業 3.2%
生活関連サービス・娯楽業 0.0% 複合サービス・金融業 6.7%
公共交通機関(バス) 3.4% 公共交通機関(タクシー) 0.0% 公共交通機関(鉄道) 0.0%

Q25. あなたがこの法律についてより正しく理解するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

メディアによる情報発信 50.8%

飲食業 63.0% 宿泊業 59.0% 医療業 45.0% 小売業 54.0% 不動産賃貸業 63.0%
生活関連サービス・娯楽業 53.0% 複合サービス・金融業 48.0%
公共交通機関(バス) 36.0% 公共交通機関(タクシー) 48.0% 公共交通機関(鉄道) 39.0%

公的機関(県や市など)による情報発信 41.8%

飲食業 41.0% 宿泊業 38.0% 医療業 30.0% 小売業 41.0% 不動産賃貸業 42.0%
生活関連サービス・娯楽業 44.0% 複合サービス・金融業 48.0%
公共交通機関(バス) 46.0% 公共交通機関(タクシー) 47.0% 公共交通機関(鉄道) 36.0%

業界団体(観光協会や医師会など)による情報発信 22.2%

飲食業 25.0% 宿泊業 28.0% 医療業 15.0% 小売業 19.0% 不動産賃貸業 24.0%
生活関連サービス・娯楽業 19.0% 複合サービス・金融業 25.0%
公共交通機関(バス) 23.0% 公共交通機関(タクシー) 22.0% 公共交通機関(鉄道) 22.0%

盲導犬育成施設による情報発信 20.0%

飲食業 26.0% 宿泊業 24.0% 医療業 18.0% 小売業 11.0% 不動産賃貸業 22.0%
生活関連サービス・娯楽業 23.0% 複合サービス・金融業 16.0%
公共交通機関(バス) 20.0% 公共交通機関(タクシー) 22.0% 公共交通機関(鉄道) 18.0%

勤め先での従業員研修 32.3%

飲食業 29.0% 宿泊業 37.0% 医療業 22.0% 小売業 31.0% 不動産賃貸業 25.0%
生活関連サービス・娯楽業 30.0% 複合サービス・金融業 35.0%
公共交通機関(バス) 35.0% 公共交通機関(タクシー) 33.0% 公共交通機関(鉄道) 46.0%

学習現場での学習機会 18.7%

飲食業 18.0% 宿泊業 17.0% 医療業 22.0% 小売業 20.0% 不動産賃貸業 23.0%
生活関連サービス・娯楽業 19.0% 複合サービス・金融業 17.0%
公共交通機関(バス) 18.0% 公共交通機関(タクシー) 14.0% 公共交通機関(鉄道) 19.0%

盲導犬ユーザーや盲導犬との交流・体験の場 24.2%

飲食業 24.0% 宿泊業 34.0% 医療業 24.0% 小売業 22.0% 不動産賃貸業 26.0%
生活関連サービス・娯楽業 25.0% 複合サービス・金融業 19.0%
公共交通機関(バス) 23.0% 公共交通機関(タクシー) 21.0% 公共交通機関(鉄道) 24.0%

その他：1.7%

飲食業 2.0% 宿泊業 2.0% 医療業 2.0% 小売業 3.0% 不動産賃貸業 0.0%
生活関連サービス・娯楽業 2.0% 複合サービス・金融業 1.0%
公共交通機関(バス) 2.0% 公共交通機関(タクシー) 1.0% 公共交通機関(鉄道) 2.0%

Q26. あなたは「補助犬ステッカー」の存在を知っていますか。

知っている 19.5%

飲食業 21.0% 宿泊業 24.0% 医療業 16.0% 小売業 20.0% 不動産賃貸業 15.0%
生活関連サービス・娯楽業 13.0% 複合サービス・金融業 13.0%
公共交通機関(バス)24.0% 公共交通機関(タクシー) 13.0% 公共交通機関(鉄道) 36.0%

見たことがある程度 31.0%

飲食業 26.0% 宿泊業 31.0% 医療業 34.0% 小売業 29.0% 不動産賃貸業 32.0%
生活関連サービス・娯楽業 34.0% 複合サービス・金融業 38.0%
公共交通機関(バス) 34.0% 公共交通機関(タクシー) 28.0% 公共交通機関(鉄道) 24.0%

見たこともないし、知らない 49.5%

飲食業 53.0% 宿泊業 45.0% 医療業 50.0% 小売業 51.0% 不動産賃貸業 53.0%
生活関連サービス・娯楽業 53.0% 複合サービス・金融業 49.0%
公共交通機関(バス) 42.0% 公共交通機関(タクシー) 59.0% 公共交通機関(鉄道) 40.0%

Q27. 「知っている・見たことがある」とお答えされた方に伺います。

補助犬ステッカーの意味について、あなたの理解に近いものを選んでください。

補助犬ステッカーがあるお店だけ補助犬同伴で入店できる 28.9%

飲食業 40.4% 宿泊業 40.0% 医療業 30.0% 小売業 24.5% 不動産賃貸業 34.0%
生活関連サービス・娯楽業 38.3% 複合サービス・金融業 31.4%
公共交通機関(バス) 19.0% 公共交通機関(タクシー) 19.5% 公共交通機関(鉄道) 15.0%

補助犬ステッカーが無くても、補助犬同伴で原則すべての施設に入店できる 43.4%

飲食業 36.2% 宿泊業 38.2% 医療業 40.0% 小売業 38.8% 不動産賃貸業 40.4%
生活関連サービス・娯楽業 31.9% 複合サービス・金融業 37.3%
公共交通機関(バス)50.0% 公共交通機関(タクシー)41.5% 公共交通機関(鉄道)71.7%

よくわからない 27.7%

飲食業 23.4% 宿泊業 21.8% 医療業 30.0% 小売業 36.7% 不動産賃貸業 25.5%
生活関連サービス・娯楽業 29.8% 複合サービス・金融業 31.4%
公共交通機関(バス) 31.0% 公共交通機関(タクシー) 39.0% 公共交通機関(鉄道) 13.3%

Q28. あなたは盲導犬ユーザーに犬の管理（衛生/行動管理など）をする法的な義務があることを知っていますか。

知っている 20.7%

飲食業 25.0% 宿泊業 23.0% 医療業 15.0% 小売業 18.0% 不動産賃貸業 22.0%
生活関連サービス・娯楽業 12.0% 複合サービス・金融業 14.0%
公共交通機関(バス) 25.0% 公共交通機関(タクシー) 25.0% 公共交通機関(鉄道) 28.0%

知らない 79.3%

飲食業 75.0% 宿泊業 77.0% 医療業 85.0% 小売業 82.0% 不動産賃貸業 78.0%
生活関連サービス・娯楽業 88.0% 複合サービス・金融業 86.0%
公共交通機関(バス) 75.0% 公共交通機関(タクシー) 75.0% 公共交通機関(鉄道) 72.0%

Q29. あなたは、補助犬に関する相談窓口が、都道府県、政令市、中核市に設置されていることを知っていますか。

知っている 14.7%

飲食業 20.0% 宿泊業 16.0% 医療業 8.0% 小売業 13.0% 不動産賃貸業 17.0%
生活関連サービス・娯楽業 14.0% 複合サービス・金融業 13.0%
公共交通機関(バス) 12.0% 公共交通機関(タクシー) 13.0% 公共交通機関(鉄道) 21.0%

知らない 85.3%

飲食業 80.0% 宿泊業 84.0% 医療業 92.0% 小売業 87.0% 不動産賃貸業 83.0%
生活関連サービス・娯楽業 86.0% 複合サービス・金融業 87.0%
公共交通機関(バス) 88.0% 公共交通機関(タクシー) 87.0% 公共交通機関(鉄道) 79.0%

Q30. 身体障害者補助犬法では、不特定多数の人が利用する施設で盲導犬の同伴を受け入れることが義務とされていますが、あなたは、補助犬法は誰のための法律だと思いますか。

あてはまるものを全てご選択ください。

障害者のため 49.0%

飲食業 54.0% 宿泊業 55.0% 医療業 47.0% 小売業 54.0% 不動産賃貸業 55.0%
生活関連サービス・娯楽業 45.0% 複合サービス・金融業 50.0%
公共交通機関(バス) 42.0% 公共交通機関(タクシー) 42.0% 公共交通機関(鉄道) 46.0%

社会全体のため 58.4%

飲食業 60.0% 宿泊業 50.0% 医療業 54.0% 小売業 62.0% 不動産賃貸業 68.0%
生活関連サービス・娯楽業 59.0% 複合サービス・金融業 65.0%
公共交通機関(バス) 53.0% 公共交通機関(タクシー) 52.0% 公共交通機関(鉄道) 61.0%

犬のため 25.2%

飲食業 33.0% 宿泊業 34.0% 医療業 27.0% 小売業 26.0% 不動産賃貸業 29.0%
生活関連サービス・娯楽業 26.0% 複合サービス・金融業 24.0%
公共交通機関(バス) 18.0% 公共交通機関(タクシー) 12.0% 公共交通機関(鉄道) 23.0%

上記いずれも当てはまらない 14.5%

飲食業 12.0% 宿泊業 11.0% 医療業 20.0% 小売業 13.0% 不動産賃貸業 12.0%
生活関連サービス・娯楽業 13.0% 複合サービス・金融業 12.0%
公共交通機関(バス) 16.0% 公共交通機関(タクシー) 18.0% 公共交通機関(鉄道) 18.0%

Q31. 盲導犬を同伴して施設等を利用することが法的に認められていることについて、

どのように思いますか。

とてもよいと思う 53.3%

飲食業 59.0% 宿泊業 54.0% 医療業 45.0% 小売業 54.0% 不動産賃貸業 60.0%
生活関連サービス・娯楽業 48.0% 複合サービス・金融業 51.0%
公共交通機関(バス) 57.0% 公共交通機関(タクシー) 49.0% 公共交通機関(鉄道) 56.0%

ややよいと思う 35.5%

飲食業 35.0% 宿泊業 36.0% 医療業 38.0% 小売業 34.0% 不動産賃貸業 35.0%
生活関連サービス・娯楽業 41.0% 複合サービス・金融業 39.0%
公共交通機関(バス) 29.0% 公共交通機関(タクシー) 36.0% 公共交通機関(鉄道) 32.0%

あまりよいと思わない 5.8%

飲食業 3.0% 宿泊業 4.0% 医療業 11.0% 小売業 4.0% 不動産賃貸業 3.0%
生活関連サービス・娯楽業 6.0% 複合サービス・金融業 7.0%
公共交通機関(バス) 6.0% 公共交通機関(タクシー) 9.0% 公共交通機関(鉄道) 5.0%

全くよいと思わない 5.4%

飲食業 3.0% 宿泊業 6.0% 医療業 6.0% 小売業 8.0% 不動産賃貸業 2.0%
生活関連サービス・娯楽業 5.0% 複合サービス・金融業 3.0%
公共交通機関(バス) 8.0% 公共交通機関(タクシー) 6.0% 公共交通機関(鉄道) 7.0%

Q32. あなたは、身体障害者補助犬法があることについてどのように感じますか。

①障害者がお店等を利用する権利を考えると妥当だと感じる

とてもそう思う 33.7%

飲食業 31.0% 宿泊業 35.0% 医療業 31.0% 小売業 40.0% 不動産賃貸業 40.0%
生活関連サービス・娯楽業 28.0% 複合サービス・金融業 33.0%
公共交通機関(バス) 38.0% 公共交通機関(タクシー) 28.0% 公共交通機関(鉄道) 33.0%

ややそう思う 44.3%

飲食業 50.0% 宿泊業 46.0% 医療業 41.0% 小売業 39.0% 不動産賃貸業 44.0%
生活関連サービス・娯楽業 47.0% 複合サービス・金融業 50.0%
公共交通機関(バス) 41.0% 公共交通機関(タクシー) 48.0% 公共交通機関(鉄道) 37.0%

あまりそう思わない 14.8%

飲食業 9.0% 宿泊業 11.0% 医療業 18.0% 小売業 14.0% 不動産賃貸業 11.0%
生活関連サービス・娯楽業 19.0% 複合サービス・金融業 13.0%
公共交通機関(バス) 14.0% 公共交通機関(タクシー) 18.0% 公共交通機関(鉄道) 21.0%

全くそう思わない 7.2%

飲食業 10.0% 宿泊業 8.0% 医療業 10.0% 小売業 7.0% 不動産賃貸業 5.0%
生活関連サービス・娯楽業 6.0% 複合サービス・金融業 8.0%
公共交通機関(バス) 7.0% 公共交通機関(タクシー) 6.0% 公共交通機関(鉄道) 9.0%

②受け入れるお店側への配慮が足りないと感じる

とてもそう思う 9.3%

飲食業 11.0% 宿泊業 9.0% 医療業 6.0% 小売業 10.0% 不動産賃貸業 10.0%
生活関連サービス・娯楽業 14.0% 複合サービス・金融業 10.0%
公共交通機関(バス) 12.0% 公共交通機関(タクシー) 7.0% 公共交通機関(鉄道) 4.0%

ややそう思う 35.5%

飲食業 38.0% 宿泊業 42.0% 医療業 38.0% 小売業 36.0% 不動産賃貸業 33.0%
生活関連サービス・娯楽業 29.0% 複合サービス・金融業 37.0%
公共交通機関(バス) 28.0% 公共交通機関(タクシー) 43.0% 公共交通機関(鉄道) 31.0%

あまりそう思わない 39.1%

飲食業 37.0% 宿泊業 36.0% 医療業 40.0% 小売業 36.0% 不動産賃貸業 40.0%
生活関連サービス・娯楽業 43.0% 複合サービス・金融業 41.0%
公共交通機関(バス)40.0% 公共交通機関(タクシー)38.0% 公共交通機関(鉄道)40.0%

全くそう思わない 16.1%

飲食業 14.0% 宿泊業 13.0% 医療業 16.0% 小売業 18.0% 不動産賃貸業 17.0%
生活関連サービス・娯楽業 14.0% 複合サービス・金融業 12.0%
公共交通機関(バス) 20.0% 公共交通機関(タクシー) 12.0% 公共交通機関(鉄道) 25.0%

③アレルギーのある人への配慮が足りていないと感じる

とてもそう思う 6.1%

飲食業 11.0% 宿泊業 10.0% 医療業 6.0% 小売業 6.0% 不動産賃貸業 6.0%
生活関連サービス・娯楽業 8.0% 複合サービス・金融業 1.0%
公共交通機関(バス) 6.0% 公共交通機関(タクシー) 6.0% 公共交通機関(鉄道)1.0%

ややそう思う 37.1%

飲食業 41.0% 宿泊業 47.0% 医療業 43.0% 小売業 30.0% 不動産賃貸業 32.0%
生活関連サービス・娯楽業 39.0% 複合サービス・金融業 41.0%
公共交通機関(バス) 32.0% 公共交通機関(タクシー)36.0% 公共交通機関(鉄道)30.0%

あまりそう思わない 42.3%

飲食業 35.0% 宿泊業 31.0% 医療業 40.0% 小売業 44.0% 不動産賃貸業 43.0%
生活関連サービス・娯楽業 42.0% 複合サービス・金融業 50.0%
公共交通機関(バス) 42.0% 公共交通機関(タクシー) 49.0% 公共交通機関(鉄道) 47.0%

全くそう思わない 14.5%

飲食業 13.0% 宿泊業 12.0% 医療業 11.0% 小売業 20.0% 不動産賃貸業 19.0%
生活関連サービス・娯楽業 11.0% 複合サービス・金融業 8.0%
公共交通機関(バス) 20.0% 公共交通機関(タクシー) 9.0% 公共交通機関(鉄道) 22.0%

④犬嫌いの人への配慮が足りていないと感じる

とてもそう思う 5.9%

飲食業 8.0% 宿泊業 10.0% 医療業 4.0% 小売業 6.0% 不動産賃貸業 7.0%
生活関連サービス・娯楽業 4.0% 複合サービス・金融業 6.0%
公共交通機関(バス) 6.0% 公共交通機関(タクシー)5.0% 公共交通機関(鉄道)3.0%

ややそう思う 30.4%

飲食業 33.0% 宿泊業 32.0% 医療業 26.0% 小売業 32.0% 不動産賃貸業 23.0%
生活関連サービス・娯楽業 40.0% 複合サービス・金融業 32.0%
公共交通機関(バス) 30.0% 公共交通機関(タクシー) 26.0% 公共交通機関(鉄道) 30.0%

あまりそう思わない 45.9%

飲食業 43.0% 宿泊業 44.0% 医療業 47.0% 小売業 42.0% 不動産賃貸業 52.0%
生活関連サービス・娯楽業 35.0% 複合サービス・金融業 54.0%
公共交通機関(バス)43.0% 公共交通機関(タクシー)55.0% 公共交通機関(鉄道)44.0%

全くそう思わない 17.8%

飲食業 16.0% 宿泊業 14.0% 医療業 23.0% 小売業 20.0% 不動産賃貸業 18.0%
生活関連サービス・娯楽業 21.0% 複合サービス・金融業 8.0%
公共交通機関(バス) 21.0% 公共交通機関(タクシー) 14.0% 公共交通機関(鉄道)23.0%

Q33. あなたのお勤め先で、今後盲導犬ユーザーの利用を受け入れますか。

受け入れる 59.6%

飲食業 59.0% 宿泊業 53.0% 医療業 52.0% 小売業 63.0% 不動産賃貸業 63.0%
生活関連サービス・娯楽業 54.0% 複合サービス・金融業 54.0%
公共交通機関(バス)65.0% 公共交通機関(タクシー)63.0% 公共交通機関(鉄道)70.0%

受け入れない 7.2%

飲食業 9.0% 宿泊業 10.0% 医療業 5.0% 小売業 6.0% 不動産賃貸業 9.0%
生活関連サービス・娯楽業 9.0% 複合サービス・金融業 5.0%
公共交通機関(バス)6.0% 公共交通機関(タクシー)7.0% 公共交通機関(鉄道)6.0%

どちらともいえない 33.2%

飲食業 32.0% 宿泊業 37.0% 医療業 43.0% 小売業 31.0% 不動産賃貸業 28.0%
生活関連サービス・娯楽業 37.0% 複合サービス・金融業 41.0%
公共交通機関(バス) 29.0% 公共交通機関(タクシー)30.0% 公共交通機関(鉄道)24.0%

Q34. 今後盲導犬ユーザーの利用を「受け入れる」と回答した理由をすべてお選びください。

法律（身体障害者補助犬法）で定められているため 26.7%

飲食業 28.8% 宿泊業 26.4% 医療業 26.9% 小売業 25.4% 不動産賃貸業 14.3%
生活関連サービス・娯楽業 20.4% 複合サービス・金融業 25.9%
公共交通機関(バス)29.2% 公共交通機関(タクシー)30.2% 公共交通機関(鉄道)37.1%

社会的責任・インクルージョンの観点から当然だと思う 38.1%

飲食業 40.7% 宿泊業 43.4% 医療業 42.3% 小売業 36.5% 不動産賃貸業 34.9%
生活関連サービス・娯楽業 35.2% 複合サービス・金融業 37.0%
公共交通機関(バス) 26.2% 公共交通機関(タクシー)49.2% 公共交通機関(鉄道)37.1%

盲導犬は訓練されており、衛生・安全面で問題ないと理解している 47.5%

飲食業 50.8% 宿泊業 47.2% 医療業 36.5% 小売業 57.1% 不動産賃貸業 46.0%
生活関連サービス・娯楽業 55.6% 複合サービス・金融業 46.3%
公共交通機関(バス)49.2% 公共交通機関(タクシー)41.3% 公共交通機関(鉄道)44.3%

以前に受け入れた際に特に問題がなかった 13.1%

飲食業 8.5% 宿泊業 17.0% 医療業 5.8% 小売業 20.6% 不動産賃貸業 9.5%
生活関連サービス・娯楽業 5.6% 複合サービス・金融業 1.9%
公共交通機関(バス) 18.5% 公共交通機関(タクシー) 14.3% 公共交通機関(鉄道) 24.3%

他の利用者からも特に苦情がなかった 10.9%

飲食業 10.2% 宿泊業 9.4% 医療業 0.0% 小売業 15.9% 不動産賃貸業 9.5%
生活関連サービス・娯楽業 7.4% 複合サービス・金融業 7.4%
公共交通機関(バス) 13.8% 公共交通機関(タクシー) 9.5% 公共交通機関(鉄道) 21.4%

施設・スタッフの体制が整っている 8.6%

飲食業 8.5% 宿泊業 7.5% 医療業 9.6% 小売業 9.5% 不動産賃貸業 12.7%
生活関連サービス・娯楽業 5.6% 複合サービス・金融業 1.9%
公共交通機関(バス) 12.3% 公共交通機関(タクシー)4.8% 公共交通機関(鉄道)11.4%

自分自身が動物や盲導犬に抵抗がない 48.5%

飲食業 54.2% 宿泊業 47.2% 医療業 34.6% 小売業 58.7% 不動産賃貸業 54.0%
生活関連サービス・娯楽業 53.7% 複合サービス・金融業 44.4%
公共交通機関(バス)43.1% 公共交通機関(タクシー)42.9% 公共交通機関(鉄道)50.0%

組織として受け入れ方針が明確である 20.5%

飲食業 15.3% 宿泊業 24.5% 医療業 19.2% 小売業 19.0% 不動産賃貸業 22.2%
生活関連サービス・娯楽業 11.1% 複合サービス・金融業 16.7%
公共交通機関(バス) 24.6% 公共交通機関(タクシー)15.9% 公共交通機関(鉄道)32.9%

その他 1.2%(その他の内容：補助犬ステッカーある、など)

飲食業 3.4% 宿泊業 0.0% 医療業 0.0% 小売業 1.6% 不動産賃貸業 1.6%
生活関連サービス・娯楽業 1.9% 複合サービス・金融業 0.0%
公共交通機関(バス) 1.5% 公共交通機関(タクシー)1.6% 公共交通機関(鉄道)0.0%

Q35. 今後盲導犬ユーザーの利用を「受け入れない」と回答した理由をすべてお選びください。

衛生面が心配 30.6%

飲食業 33.3% 宿泊業 30.0% 医療業 20.0% 小売業 33.3% 不動産賃貸業 11.1%
生活関連サービス・娯楽業 33.3% 複合サービス・金融業 60.0%
公共交通機関(バス)33.3% 公共交通機関(タクシー)42.9% 公共交通機関(鉄道)16.7%

アレルギーを持つ利用者への対応が難しい 23.6%

飲食業 22.2% 宿泊業 30.0% 医療業 0.0% 小売業 0.0% 不動産賃貸業 22.2%
生活関連サービス・娯楽業 33.3% 複合サービス・金融業 20.0%
公共交通機関(バス)50.0% 公共交通機関(タクシー)14.3% 公共交通機関(鉄道)33.3%

店舗・施設が狭く、安全確保が難しい 26.4%

飲食業 44.4% 宿泊業 40.0% 医療業 0.0% 小売業 16.7% 不動産賃貸業 55.6%
生活関連サービス・娯楽業 33.3% 複合サービス・金融業 20.0%
公共交通機関(バス)16.7% 公共交通機関(タクシー)0.0% 公共交通機関(鉄道)0.0%

従業員が対応方法を知らない/研修がない 16.7%

飲食業 11.1% 宿泊業 30.0% 医療業 0.0% 小売業 16.7% 不動産賃貸業 0.0%
生活関連サービス・娯楽業 33.3% 複合サービス・金融業 0.0%
公共交通機関(バス)16.7% 公共交通機関(タクシー)42.9% 公共交通機関(鉄道)0.0%

他の利用者からの苦情・クレームが懸念される 22.2%

飲食業 33.3% 宿泊業 40.0% 医療業 0.0% 小売業 16.7% 不動産賃貸業 22.2%
生活関連サービス・娯楽業 33.3% 複合サービス・金融業 0.0%
公共交通機関(バス)16.7% 公共交通機関(タクシー)28.6% 公共交通機関(鉄道)0.0%

社内ルール・マニュアルが整備されていない 19.4%

飲食業 11.1% 宿泊業 30.0% 医療業 20.0% 小売業 16.7% 不動産賃貸業 11.1%
生活関連サービス・娯楽業 22.2% 複合サービス・金融業 20.0%
公共交通機関(バス)16.7% 公共交通機関(タクシー)0.0% 公共交通機関(鉄道)50.0%

トラブル発生時の責任所在が不明確 23.6%

飲食業 22.2% 宿泊業 10.0% 医療業 0.0% 小売業 16.7% 不動産賃貸業 33.3%
生活関連サービス・娯楽業 33.3% 複合サービス・金融業 0.0%
公共交通機関(バス) 33.3% 公共交通機関(タクシー)42.9% 公共交通機関(鉄道)33.3%

ペットとの違いがわかりづらく判断が難しい 20.8%

飲食業 33.3% 宿泊業 0.0% 医療業 60.0% 小売業 0.0% 不動産賃貸業 11.1%
生活関連サービス・娯楽業 22.2% 複合サービス・金融業 0.0%
公共交通機関(バス)50.0% 公共交通機関(タクシー)14.3% 公共交通機関(鉄道)33.3%

経営者・上層部が慎重な方針を取っている 12.5%

飲食業 0.0% 宿泊業 30.0% 医療業 20.0% 小売業 0.0% 不動産賃貸業 0.0%
生活関連サービス・娯楽業 0.0% 複合サービス・金融業 20.0%
公共交通機関(バス)50.0% 公共交通機関(タクシー)14.3% 公共交通機関(鉄道)0.0%

その他 4.2%(その他の内容：お酒を飲む場なので無理)

飲食業 22.2% 宿泊業 0.0% 医療業 0.0% 小売業 0.0% 不動産賃貸業 0.0%
生活関連サービス・娯楽業 0.0% 複合サービス・金融業 20.0%
公共交通機関(バス) 0.0% 公共交通機関(タクシー)0.0% 公共交通機関(鉄道)0.0%

Q36. 今後盲導犬ユーザーの利用を「どちらともいえない」と回答した理由をすべてお選びください。

法律やルールをよく知らない 22.9%

飲食業 28.1% 宿泊業 21.6% 医療業 18.6% 小売業 32.3% 不動産賃貸業 32.1%
生活関連サービス・娯楽業 27.0% 複合サービス・金融業 22.0%
公共交通機関(バス)17.2% 公共交通機関(タクシー)20.0% 公共交通機関(鉄道)8.3%

実際に受け入れたことがないためイメージできない 35.2%

飲食業 31.3% 宿泊業 27.0% 医療業 25.6% 小売業 35.5% 不動産賃貸業 53.6%
生活関連サービス・娯楽業 37.8% 複合サービス・金融業 46.3%
公共交通機関(バス)44.8% 公共交通機関(タクシー)23.3% 公共交通機関(鉄道)29.2%

職場の設備やスペースが適していない 19.0%

飲食業 31.3% 宿泊業 21.6% 医療業 16.3% 小売業 22.6% 不動産賃貸業 21.4%
生活関連サービス・娯楽業 27.0% 複合サービス・金融業 2.4%
公共交通機関(バス)20.7% 公共交通機関(タクシー)20.0% 公共交通機関(鉄道)8.3%

他の利用者の反応がわからない 19.6%

飲食業 25.0% 宿泊業 21.6% 医療業 20.9% 小売業 22.6% 不動産賃貸業 14.3%
生活関連サービス・娯楽業 16.2% 複合サービス・金融業 17.1%
公共交通機関(バス)17.2% 公共交通機関(タクシー)13.3% 公共交通機関(鉄道)29.2%

衛生面や安全面の基準がわからない 18.7%

飲食業 28.1% 宿泊業 16.2% 医療業 16.3% 小売業 16.1% 不動産賃貸業 10.7%
生活関連サービス・娯楽業 29.7% 複合サービス・金融業 17.1%
公共交通機関(バス) 10.3% 公共交通機関(タクシー)23.3% 公共交通機関(鉄道)16.7%

対応方法を学んだことがない 22.3%

飲食業 21.9% 宿泊業 18.9% 医療業 16.3% 小売業 19.4% 不動産賃貸業 21.4%
生活関連サービス・娯楽業 29.7% 複合サービス・金融業 34.1%
公共交通機関(バス)20.7% 公共交通機関(タクシー)10.0% 公共交通機関(鉄道)29.2%

社内で方針が定まっていない 27.4%

飲食業 21.9% 宿泊業 48.6% 医療業 20.9% 小売業 19.4% 不動産賃貸業 14.3%
生活関連サービス・娯楽業 21.6% 複合サービス・金融業 34.1%
公共交通機関(バス) 24.1% 公共交通機関(タクシー)36.7% 公共交通機関(鉄道)29.2%

その他 3.6%(その他の内容：場所を借りているため決める権利がない,判断できる立場にない、など)

飲食業 0.0% 宿泊業 5.4% 医療業 4.7% 小売業 0.0% 不動産賃貸業 10.7%
生活関連サービス・娯楽業 2.7% 複合サービス・金融業 4.9%
公共交通機関(バス)0.0% 公共交通機関(タクシー)6.7% 公共交通機関(鉄道)0.0%

Q37. あなたは、障害者差別解消法を知っていますか。

法律の存在を知っており、内容をほぼ理解している 10.1%

飲食業 16.0% 宿泊業 12.0% 医療業 7.0% 小売業 7.0% 不動産賃貸業 8.0%
生活関連サービス・娯楽業 6.0% 複合サービス・金融業 10.0%
公共交通機関(バス)9.0% 公共交通機関(タクシー)5.0% 公共交通機関(鉄道)21.0%

法律の存在は知っているが中身は知らない 24.8%

飲食業 23.0% 宿泊業 16.0% 医療業 27.0% 小売業 20.0% 不動産賃貸業 19.0%
生活関連サービス・娯楽業 24.0% 複合サービス・金融業 24.0%
公共交通機関(バス)32.0% 公共交通機関(タクシー)27.0% 公共交通機関(鉄道)36.0%

法律の存在を知らない 65.1%

飲食業 61.0% 宿泊業 72.0% 医療業 66.0% 小売業 73.0% 不動産賃貸業 73.0%
生活関連サービス・娯楽業 70.0% 複合サービス・金融業 66.0%
公共交通機関(バス)59.0% 公共交通機関(タクシー)68.0% 公共交通機関(鉄道)43.0%

Q38. 「知っている」とお答えされた方に伺います。この法律をどのような場面で知りましたか。

私的な場面（プライベート）で知った 62.8%

飲食業 76.9% 宿泊業 53.8% 医療業 67.6% 小売業 81.5% 不動産賃貸業 74.1%
生活関連サービス・娯楽業 60.0% 複合サービス・金融業 79.4%
公共交通機関(バス) 53.7% 公共交通機関(タクシー) 65.6% 公共交通機関(鉄道) 36.8%

就業中に知った 37.2%

飲食業 23.1% 宿泊業 46.4% 医療業 32.4% 小売業 18.5% 不動産賃貸業 25.9%
生活関連サービス・娯楽業 40.0% 複合サービス・金融業 20.6%
公共交通機関(バス) 46.3% 公共交通機関(タクシー) 34.4% 公共交通機関(鉄道) 63.2%

Q39. 「知っている」とお答えされた方に伺います。この法律をどのような方法（媒体）で知りましたか。

あてはまるものを全てご選択ください。

テレビ・ニュース 50.1%

飲食業 48.7% 宿泊業 21.4% 医療業 55.9% 小売業 66.7% 不動産賃貸業 55.6%
生活関連サービス・娯楽業 56.7% 複合サービス・金融業 61.8%
公共交通機関(バス) 61.0% 公共交通機関(タクシー) 46.9% 公共交通機関(鉄道) 35.1%

ラジオ 8.6%

飲食業 12.8% 宿泊業 14.3% 医療業 8.8% 小売業 18.5% 不動産賃貸業 7.4%
生活関連サービス・娯楽業 6.7% 複合サービス・金融業 2.9%
公共交通機関(バス) 7.3% 公共交通機関(タクシー) 9.4% 公共交通機関(鉄道) 3.5%

新聞 22.1%

飲食業 4.0% 宿泊業 6.0% 医療業 9.0% 小売業 8.0% 不動産賃貸業 9.0%
生活関連サービス・娯楽業 7.0% 複合サービス・金融業 9.0%
公共交通機関(バス) 8.0% 公共交通機関(タクシー) 6.0% 公共交通機関(鉄道) 11.0%

WEB 記事 20.1%

飲食業 20.5% 宿泊業 25.0% 医療業 17.6% 小売業 25.9% 不動産賃貸業 25.9%
生活関連サービス・娯楽業 16.7% 複合サービス・金融業 23.5%
公共交通機関(バス) 17.1% 公共交通機関(タクシー) 18.8% 公共交通機関(鉄道) 15.8%

SNS (X・Instagram・Facebook など) 12.3%

飲食業 25.6% 宿泊業 25.0% 医療業 8.8% 小売業 18.5% 不動産賃貸業 18.5%
生活関連サービス・娯楽業 6.7% 複合サービス・金融業 0.0%
公共交通機関(バス) 7.3% 公共交通機関(タクシー) 12.5% 公共交通機関(鉄道) 7.0%

インターネット 24.1%

飲食業 38.5% 宿泊業 28.6% 医療業 5.9% 小売業 37.0% 不動産賃貸業 33.3%
生活関連サービス・娯楽業 20.0% 複合サービス・金融業 17.6%
公共交通機関(バス) 14.6% 公共交通機関(タクシー) 34.4% 公共交通機関(鉄道) 19.3%

職場での研修 21.5%

飲食業 5.1% 宿泊業 28.6% 医療業 17.6% 小売業 11.1% 不動産賃貸業 22.2%
生活関連サービス・娯楽業 26.7% 複合サービス・金融業 5.9%
公共交通機関(バス) 24.4% 公共交通機関(タクシー) 3.1% 公共交通機関(鉄道) 50.9%

資格取得試験 5.4%

飲食業 5.1% 宿泊業 3.6% 医療業 2.9% 小売業 7.4% 不動産賃貸業 7.4%
生活関連サービス・娯楽業 6.7% 複合サービス・金融業 0.0%
公共交通機関(バス) 4.9% 公共交通機関(タクシー) 3.1% 公共交通機関(鉄道) 10.5%

盲導犬訓練施設職員の説明 4.0%

飲食業 2.6% 宿泊業 7.1% 医療業 5.9% 小売業 11.1% 不動産賃貸業 3.7%
生活関連サービス・娯楽業 6.7% 複合サービス・金融業 0.0%
公共交通機関(バス) 7.3% 公共交通機関(タクシー)0.0% 公共交通機関(鉄道)0.0%

盲導犬ユーザー（その家族）など当事者の話 6.3%

飲食業 2.6% 宿泊業 10.7% 医療業 2.9% 小売業 18.5% 不動産賃貸業 11.1%
生活関連サービス・娯楽業 6.7% 複合サービス・金融業 5.9%
公共交通機関(バス) 7.3% 公共交通機関(タクシー) 6.3% 公共交通機関(鉄道) 0.0%

その他 2.0%（その他の内容：福祉関係の仕事をしていた、障害者団体の発行するパンフレット、など）

飲食業 0.0% 宿泊業 3.6% 医療業 2.9% 小売業 7.4% 不動産賃貸業 0.0%
生活関連サービス・娯楽業 0.0% 複合サービス・金融業 2.9%
公共交通機関(バス) 0.0% 公共交通機関(タクシー)3.1% 公共交通機関(鉄道)1.8%

Q40. あなたがこの法律についてより正しく理解するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

メディアによる情報発信 56.7%

飲食業 58.0% 宿泊業 66.0% 医療業 62.0% 小売業 57.0% 不動産賃貸業 69.0%
生活関連サービス・娯楽業 56.0% 複合サービス・金融業 54.0%
公共交通機関(バス)44.0% 公共交通機関(タクシー) 55.0% 公共交通機関(鉄道)46.0%

公的機関（県や市など）による情報発信 47.3%

飲食業 51.0% 宿泊業 41.0% 医療業 35.0% 小売業 53.0% 不動産賃貸業 49.0%
生活関連サービス・娯楽業 48.0% 複合サービス・金融業 46.0%
公共交通機関(バス) 53.0% 公共交通機関(タクシー) 51.0% 公共交通機関(鉄道)46.0%

業界団体（観光協会や医師会など）による情報発信 28.6%

飲食業 37.0% 宿泊業 29.0% 医療業 38.0% 小売業 26.0% 不動産賃貸業 31.0%
生活関連サービス・娯楽業 27.0% 複合サービス・金融業 27.0%
公共交通機関(バス)27.0% 公共交通機関(タクシー)28.0% 公共交通機関(鉄道)26.0%

勤め先での従業員研修 36.8%

飲食業 27.0% 宿泊業 43.0% 医療業 30.0% 小売業 32.0% 不動産賃貸業 28.0%
生活関連サービス・娯楽業 31.0% 複合サービス・金融業 43.0%
公共交通機関(バス) 36.0% 公共交通機関(タクシー)37.0% 公共交通機関(鉄道)61.0%

学習現場での学習機会 21.8%

飲食業 21.0% 宿泊業 22.0% 医療業 15.0% 小売業 28.0% 不動産賃貸業 26.0%
生活関連サービス・娯楽業 18.0% 複合サービス・金融業 14.0%
公共交通機関(バス)28.0% 公共交通機関(タクシー)19.0% 公共交通機関(鉄道)27.0%

障害当事者や支援団体による講演・交流会 19.9%

飲食業 22.0% 宿泊業 20.0% 医療業 17.0% 小売業 16.0% 不動産賃貸業 16.0%
生活関連サービス・娯楽業 19.0% 複合サービス・金融業 23.0%
公共交通機関(バス)13.0% 公共交通機関(タクシー)27.0% 公共交通機関(鉄道)26.0%

その他：1.1%

飲食業 2.0% 宿泊業 1.0% 医療業 1.0% 小売業 2.0% 不動産賃貸業 0.0%
生活関連サービス・娯楽業 3.0% 複合サービス・金融業 1.0%
公共交通機関(バス)1.0% 公共交通機関(タクシー)0.0% 公共交通機関(鉄道)0.0%

Q41. 障害者差別解消法について、以下のことをご存知ですか。

①障害者差別解消法では、障害を理由とした不当な差別的取り扱いを禁止していること
知っている 36.0%

飲食業 39.0% 宿泊業 30.0% 医療業 28.0% 小売業 25.0% 不動産賃貸業 38.0%
生活関連サービス・娯楽業 31.0% 複合サービス・金融業 39.0%
公共交通機関(バス)42.0% 公共交通機関(タクシー)38.0% 公共交通機関(鉄道)50.0%

知らない 64.0%

飲食業 61.0% 宿泊業 70.0% 医療業 72.0% 小売業 75.0% 不動産賃貸業 62.0%
生活関連サービス・娯楽業 69.0% 複合サービス・金融業 61.0%
公共交通機関(バス)58.0% 公共交通機関(タクシー)62.0% 公共交通機関(鉄道)50.0%

②障害者差別解消法では、障害者の求めに応じた合理的配慮の提供が義務であること

知っている 27.7%

飲食業 31.0% 宿泊業 25.0% 医療業 20.0% 小売業 14.0% 不動産賃貸業 27.0%
生活関連サービス・娯楽業 24.0% 複合サービス・金融業 27.0%
公共交通機関(バス)33.0% 公共交通機関(タクシー)29.0% 公共交通機関(鉄道)47.0%

知らない 72.3%

飲食業 69.0% 宿泊業 75.0% 医療業 80.0% 小売業 86.0% 不動産賃貸業 73.0%
生活関連サービス・娯楽業 76.0% 複合サービス・金融業 73.0%
公共交通機関(バス)67.0% 公共交通機関(タクシー)71.0% 公共交通機関(鉄道)53.0%

Q42. あなたのお勤め先で盲導犬同伴での利用を拒むことは、障害者差別解消法の不当な差別的取り扱いに
該当すると思いますか。

該当すると思う 64.7%

飲食業 61.0% 宿泊業 64.0% 医療業 64.0% 小売業 60.0% 不動産賃貸業 64.0%
生活関連サービス・娯楽業 59.0% 複合サービス・金融業 67.0%
公共交通機関(バス)71.0% 公共交通機関(タクシー)65.0% 公共交通機関(鉄道)72.0%

該当すると思わない 35.3%

飲食業 39.0% 宿泊業 36.0% 医療業 36.0% 小売業 40.0% 不動産賃貸業 36.0%
生活関連サービス・娯楽業 41.0% 複合サービス・金融業 33.0%
公共交通機関(バス)29.0% 公共交通機関(タクシー)35.0% 公共交通機関(鉄道)28.0%

Q43. あなたのお勤め先は、視覚障害のお客様が利用しやすい場所だと思いますか。

とてもそう思う 6.6%

飲食業 10.0% 宿泊業 3.0% 医療業 6.0% 小売業 8.0% 不動産賃貸業 8.0%
生活関連サービス・娯楽業 6.0% 複合サービス・金融業 3.0%
公共交通機関(バス)9.0% 公共交通機関(タクシー)6.0% 公共交通機関(鉄道)7.0%

ややそう思う 29.9%

飲食業 31.0% 宿泊業 29.0% 医療業 35.0% 小売業 27.0% 不動産賃貸業 21.0%
生活関連サービス・娯楽業 21.0% 複合サービス・金融業 21.0%
公共交通機関(バス) 35.0% 公共交通機関(タクシー) 33.0% 公共交通機関(鉄道) 46.0%

あまりそう思わない 46.8%

飲食業 44.0% 宿泊業 54.0% 医療業 48.0% 小売業 47.0% 不動産賃貸業 52.0%
生活関連サービス・娯楽業 48.0% 複合サービス・金融業 57.0%
公共交通機関(バス) 38.0% 公共交通機関(タクシー)50.0% 公共交通機関(鉄道)30.0%

全くそう思わない 16.7%

飲食業 15.0% 宿泊業 14.0% 医療業 11.0% 小売業 18.0% 不動産賃貸業 19.0%
生活関連サービス・娯楽業 25.0% 複合サービス・金融業 19.0%
公共交通機関(バス)18.0% 公共交通機関(タクシー)11.0% 公共交通機関(鉄道)17.0%

Q44. 上記のように回答した理由を具体的に教えてください。

【とてもそう思う】と回答 66 名。内容を一部抜粋

- ・視覚障害者/盲導犬ユーザーの利用経験がある
- ・バリアフリーや障がいのある方への環境整備は整っている
- ・実際に来店されている/常連客である
- ・どんな方の利用も拒否等したことがない
- ・障害者雇用もしている

【ややそう思う】と回答：299 名。内容を一部抜粋

- ・まだまだ改善の余地並びにしなくてはいけない事柄が多数あるように感じる
- ・バリアフリーではあるが、通路に荷物などもあり、配慮が必要となる。
- ・接客を1番に考えているお店だから
- ・点字ブロックがあり、手伝えるスタッフがいる
- ・どなたにでも利用しやすく配慮している
- ・来店したときのマニュアルはある
- ・補助犬可の掲示をしており、問題なく受け入れることができるため。
- ・実際にその場面になると足りないこともあるかもしれないが、ある程度は整っていると思う
- ・普段から利用されているお客様がおられるので利用しやすいとは思いますが直接聞いたことはない
- ・利用しやすくなってきたが、まだまだハード面やソフト面で整っていない部分が多い

【あまりそう思わない】と回答 468 名。内容を一部抜粋

- ・障害者が利用するという視点で経営や営業をしてない
- ・社員教育が出来ていない
- ・受入れ拒否（乗車拒否）をする従業員が多い
- ・当事者に実際触れ合うことがほとんどなく、理解が深まっていない
- ・障害のある人に対応する余裕がない
- ・これまで視覚障害者の利用が無いからイメージがわからない
- ・施設が狭く、また段差も多いので障害者には優しくない
- ・バリアフリーではない
- ・申し出があればサポートは可能だが、設備に関しては配慮が足りないのかもしれない
- ・サービスの無人化が進んでいることで、行き届いていないところがあるように思っている

【全くそう思わない】と回答 167 名。内容を一部抜粋

- ・視覚障害者が安全に利用できるような対策をしていない
- ・バリアフリーではない、通路が狭い
- ・これまで盲導犬が訪れた経験がなく、準備が整っていないから
- ・盲導犬同伴で利用できる環境になっていない
- ・提供するサービスが視覚障害ではないことを前提としたサービスであるため
- ・施設が整っていないから
- ・機械音などが多く盲導犬にとってストレスになりそう
- ・教育が行き届いていないから
- ・スタッフが足りない、このような状態を想定していない
- ・乳幼児連れも遠慮したいのに、犬を店内に入れたくない

Q45. あなたのお勤め先が視覚障害のお客様が利用しやすくなるために、今後取り組みそうなことはありますか。

ある 22.1%

飲食業 22.0% 宿泊業 30.0% 医療業 20.0% 小売業 23.0% 不動産賃貸業 10.0%
生活関連サービス・娯楽業 16.0% 複合サービス・金融業 23.0%
公共交通機関(バス)24.0% 公共交通機関(タクシー)19.0% 公共交通機関(鉄道)34.0%

ない 19.5%

飲食業 17.0% 宿泊業 17.0% 医療業 15.0% 小売業 22.0% 不動産賃貸業 26.0%
生活関連サービス・娯楽業 25.0% 複合サービス・金融業 20.0%
公共交通機関(バス)16.0% 公共交通機関(タクシー) 17.0% 公共交通機関(鉄道)20.0%

わからない 58.4%

飲食業 61.0% 宿泊業 53.0% 医療業 65.0% 小売業 55.0% 不動産賃貸業 64.0%
生活関連サービス・娯楽業 59.0% 複合サービス・金融業 57.0%
公共交通機関(バス)60.0% 公共交通機関(タクシー)64.0% 公共交通機関(鉄道)46.0%

Q46. お勤め先が視覚障害のお客様が利用しやすくなるために、今後どのような取り組みができると思いますか。

回答 221 名。内容を一部抜粋

- ・こちらからの積極的な声掛け
- ・よりコミュニケーションが取れる環境作り
- ・自分達では何が必要なのかわからないのでご要望を真摯に受け止め対応する
- ・社員の心のバリアを取り除く研修を実施する
- ・実際に障害をお持ちの方に意見をいただく
- ・従業員がもっと視覚障害のお客様のことを理解し、どこまでサポートが必要かを明確にしておくこと
- ・視覚障害について知ること、スタッフの教育
- ・しっかり社員教育を実践編で時間を割いて行う、マニュアルの作成
- ・ステッカーを貼りだすなど、協力的な姿勢をアピールする
- ・バリアフリー設備の充実
- ・声かけなどの配慮と点字メニューの導入ができると良い
- ・段差のある場所にスロープを設置する、障害になるものを置かないようにするなど

Q47. お勤め先が視覚障害のお客様が利用しやすくなるための取り組みができない理由を詳しく教えてください。

回答 195 名。内容を一部抜粋

- ・自分の立場では決める権限が無いから
- ・経営者がやろうとしない
- ・受入れに対して積極的な環境ではない、取り組みをする人がいない
- ・そもそも健常者が対象の施設だと考えているから
- ・少ない対象者のために使えるお金がないから
- ・既存の建物などハード的な事項に対しての予算が無い
- ・マニュアルを作るなどの手間がかかるため
- ・何をすればよいか分からない
- ・人手を取られて業務に支障が出る
- ・費用対効果を考えると難しい